

大企業からベンチャーへ ～理系キャリア選択の一例～

From a giant firm to a startup: a case of a former science student

○五十嵐 美樹 (エルピクセル)

°Miki Igarashi (LPixel)

E-mail: igarashi@lpixel.net

1. はじめに

近年、「Diversity」という言葉をよく耳にするが、本講演ではキャリア形成における多様性について述べたい。従来の大学卒業後の理系進路と言え、大学院等のアカデミックな分野に進むか、学内推薦を用いて大企業の研究開発職に進みたいと答える学生が大半を占めており、研究ベースの職務につくことが潜在的な意識として存在している。こういった風潮がまだまだ根強い中で、これまでにない新しい選択肢も含めて自分自身のキャリアを見つめ直す機会が現状少ない。本講演では「生きる」ためではなく「活きる」ための就職活動となるよう、私自身のキャリア形成を例に発表する。

2. 大企業への就職

大学時代は物理学を専攻し、学内推薦を用いて大企業のエンジニア職に就職した。当時、自分自身が「なりたい像」であると思い込んでいたキャリアを選択したつもりではあったが、週末に科学実験教室を開く等の個人活動を行っていく内に “理系出身の働き方の多様性” を目の当たりにし考えに変化があった。既存のテクノロジーにアイデアを加えて商業化している方々や、理科教育プログラムを考案し教育現場に貢献している方々など、輝きを放っている人は心から好きなことを追求し没頭している人間だった。

3. 大企業からベンチャーへ

こうした視点を得て、初めて自分自身で納得のいく決断を下すことが出来た。テクノロジーベンチャー企業「エルピクセル株式会社」への転職である[1, 2]。大企業で働きながら、週末に実施してきた個人活動を「仕事にする」と決意した。本決断を通じて感じた、進路選択時には見えていなかったキャリア選択肢の幅広さや、世の中の風潮に惑わされない自分軸の形成の仕方について伝えたい。

参考文献

[1] LPixel HP, <https://lpixel.net/>

[2] LIFE SCOPE インタビュー記事, <http://scope.life-app.jp/interview/reason/755/>